

水と緑のフェスティバル

第36回ファミリーハゼ釣り大会

四国三郎こと吉野川で開催される

2018.10. 7

平成30年10月 7日(日)「第36回ファミリーハゼ釣り大会」が、徳島市、徳島市水と緑の推進協議会、四国の川を考える会、徳島県釣連盟、(公)日本釣振興会徳島支部の共催、(一社)四国クリエイイト協会の協賛、国土交通省徳島河川国道事務所、徳島県釣具商組合の協力、徳島新聞社、四国放送の後援により、大型台風24・25号上陸後の大荒れの後、すこし濁りの残る吉野川で、なんとか開催できる運びとなりました。

吉野川河口から名田橋までの一帯で、ハゼ釣りを楽しみながら、「四国三郎」と呼ばれる、日本三大暴れ川であるが、徳島に肥沃で広大な吉野川平野を提供し、美しく雄大な川で遊び親しみながら、美しい景色と自然環境をいつまでも、みんなで守っていく心を持ってもらう狙いで今年で36年間連続で中止もなく、盛大な大会の開催となりました。

広い河原の中で、やはりトイレの問題も生じるので、9年前から男女別に簡易トイレを前々日に設置し、男女別のステッカーを貼り準備万端で不安要素も解決です。

この日の朝の気温は19度で、朝7時からテントを張り、受付の準備に取り掛かり、受付開始の8時まえには、参加者が受付前に並ぶ状態になり、少し時間前に受付を開始し、参加者の家族連れや中学生、高校生が次々と受付にやって来るようになり、10時で受け付けを終了当日は大潮の為、朝6時半満潮で、昼にかけて潮が引いていくので、釣果は上がるのではないと思われる。

顔馴染みになった親子づれや子供たち、県内外の各地から家族連れを含め、中には、広島県より、家族連れで参加している方がいました。

一般の部(高校生以上)123名、女性・少年の部131名、合計254名、去年より118名少ない参加で、毎年参加者減少する中、ポスターを目につきやすいよう、写真入りで、華やかなものにし、

市、内外の小学校、役所、釣具店にポスターを配布し、四国放送の釣り情報でも、毎日参加を呼びかけ、県内のスーパーマーケットにもポスター掲示をお願いし、広報に力入れたのですが、台風一過の吉野川の状態が悪かったので、釣りを控えたのではないと思われる。

今大会も徳島釣連盟・日釣振主催で「釣り教室」が同時開催され、4歳から小学6年生の子供8人を含む16名(講師を含めると25名)の参加があり、救命胴衣、釣道具一式を身に着け

釣師に変身し、徳島県釣連盟の名人の指導の元それぞれ周辺の川べりでハゼ釣りを楽しんだ。

全体を見渡すと、朝一は少し肌寒く感じられたが、10時頃には、気温も上がり、絶好の釣り日和となり、子供から高齢者までそれなりの軽装で活発に釣りに専念し、楽しんでもらえました。

場所によりムラがある中、ほとんどの参加者は目標の10匹を、釣っていた。

受付場周辺では、すこし濁が残ってる状態中、小型のハゼが、一投一投釣れている場所もあり、ときおり深みとか潮筋では良型ハゼが釣れるなか、時折小型のキビレ、ミズセ(セイゴ)が釣れていた。

ぶら下がった釣果を見せ合い、女性や少年たち、歓声が上がっていた、魚の針はずし、あるいは根がかりした仕掛けを切ったり、新しい仕掛け作りに苦戦するお父さんたち。

遊山気分で弁当やおやつを食べている、子供連れや女性に高齢者の方々、

足場のよい河川敷と雄大な自然の景色、ファミリーハゼ釣り大会ならではの光景が微笑ましく感じました。

同時に参加者は周辺のゴミ拾いにも取り込み、ペットボトルや空き缶など軽トラック2台分を集めた。
多くの釣果の中から良型ばかり選りすぐって、規定の10匹を計量した結果、上位入賞は次の皆さんです。

数字はハゼ10匹の重量で単位はgです。

◎ ファミリーの部

- 1位 光永 夏海 (徳島市) 355g
- 2位 阿部 来美 (松茂町) 345g
- 3位 吉田 芽生 (北島町) 345g

◎ 一般の部

- 1位 浜田 有記 (徳島市) 375g
- 2位 椋本 誠 (徳島市) 320g
- 3位 田鍋 幹男 (鴨島町) 260g

◎ 女性・少年の部

- 1位 吉田 浩江 (川島町) 235g
- 2位 伊達 猛人 (徳島市) 235g
- 3位 坂部 太一 (徳島市) 200g

◎ 他魚大物賞 岡 一男 (セイゴ 540g)

表彰式では、徳島市長代理はじめ、各団体の代表者から挨拶があり、各部門の優勝～3位までに賞状
賞品・参加賞、ファミリーの部は10位まで賞品と参加賞。一般の部、女性・少年の部は、吉野川治水133年賞、
ハゼ釣り大会36回賞として賞品と参加賞、そして全員に参加賞が渡され、先に軍手とゴミ袋を渡して、
ゴミを拾ってくれた人には、クリーン賞を渡されました。

徳島市水と緑の推進協議会からは、家庭で美しく咲かせと、たくさんの花の種を全員に配布してくれました。
今後も、心の洗濯として益々自然に親しみ、水に触れ、川に親しみながら、吉野川の治水にも関心を
持っていただき、自然環境を守りながら、これからも天候に恵まれより多くの方が楽しく、
参加できるよう心がけたいものです。



大会規約です。



釣教室も同時に開催です。「釣教室・協力事業・他」ページ参照



規約の裏に料理方法を記載しました。



募金ありがとうございました。

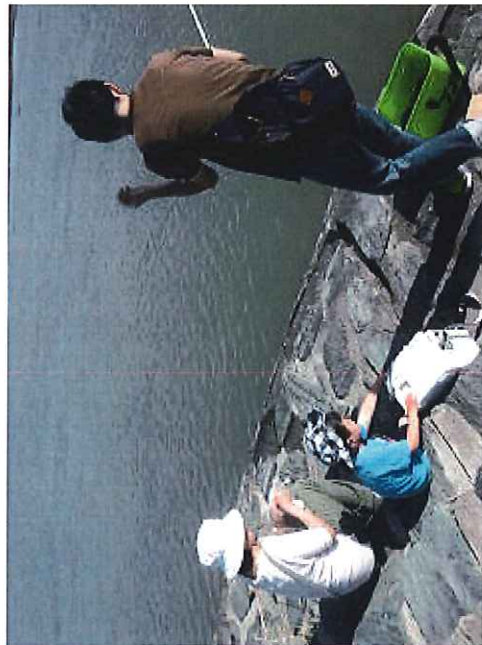


受付が始まりました。





大会のようすです。



ファミリーハゼ釣り大会

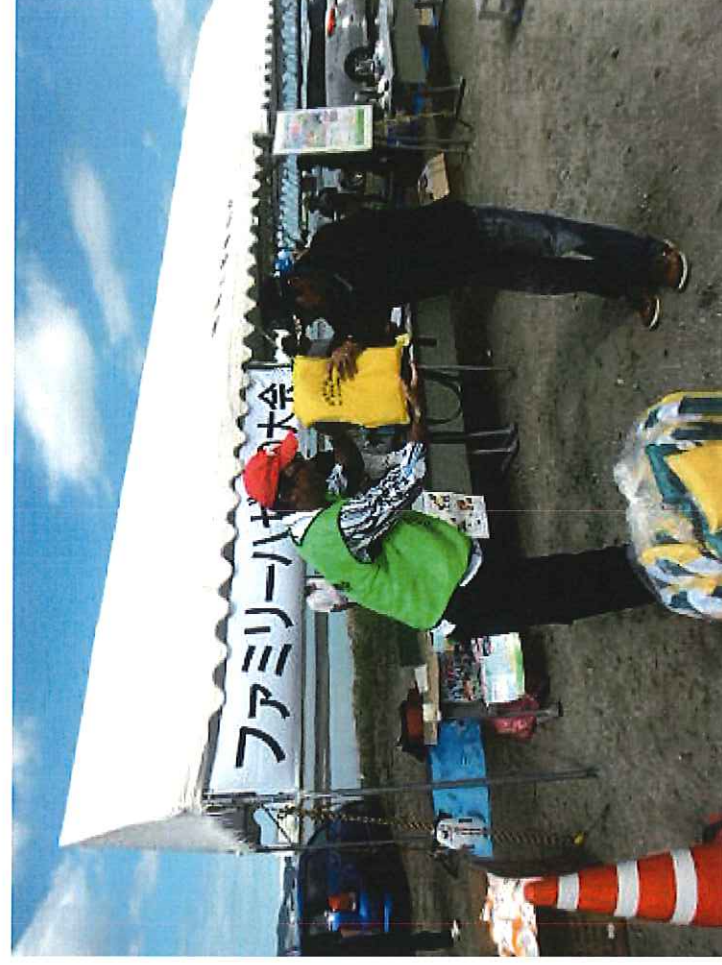


清掃活動です。

ファミリーハゼ釣り大会



集められたごみと参加された子供たち～
寄贈されました。大切に活用致します。



日本釣振興会より子供用救命具が釣連盟に



表彰式前に救命具の活用など説明しました。



徳島市あいさつ



釣連盟 副委員長あいさつ



三井先生あいさつ



日本釣振興会



表彰式の様子



入賞されたみなさんです おめでとございます